

令和3年度第1回堺市東区政策会議テーマ別会議「ひがし文活」 議事要旨

開催日時 令和3年10月13日（水） 午後1時30分～午後3時00分
開催場所 東区役所 2階201・202会議室
出席構成員 池崎守、小西貢、鈴木義規、辻有理、西野巳佐夫、林聡子、福田崇子、正木幸彦、渡士晶子
事務局職員 東区役所企画総務課 中部企画係長、大野、酒井
議題 東区の歴史・文化の発掘・発信～次世代への継承
配付資料 資料1 令和3年度第1回堺市東区政策会議テーマ別会議「ひがし文活」座席表
資料2 堺市東区政策会議テーマ別会議（ひがし歴活・ひがし文活）検討事項

【会議内容概要】

- 1 資料1に基づき、出席者紹介
- 2 資料2の記載内容を説明
 - ・会議運営について、ゲストスピーカーや追加メンバーの検討
 - ・検討テーマの一部案だし
 - ・ターゲットや成果物について、また小学生を対象にした事業展開 など
- 3 意見交換

【各構成員発言要旨】

- 住民と行政の密接な連携が大切で、未来に向かって過去の文化、また新しく創り出す文化がテーマになると思う。
- 東区に関する科学的検証を経た書物があり、研究者（専門家）を含めたネットワークを組み込むことで作業が進むことが期待できる。
- 野田城址や農作業のために狭山池の水をため池に引いた昔の人々の苦労、またこの水が仁徳陵にも注がれていたことなどは、歴史でもあり文化でもあるし、農業というのも一つの文化だと思う。
- 「だんじり」も一つの文化であり、「ひがしふれあい文化祭」、「ひがしアートフェスタ」などは現在の文化である。また阪和道の下や駅周辺に絵画をかざる活動をしたことがあり、このようなことから文化が生まれることもあると思う。
- コロナ禍で今後どうなるかわからないので、まずは検証を踏まえるために専門家や（郷土）研究者も加わっていただき、例えば「昔ばなし」は小学生にも受け入れられると思うので具体的に何がいいのかはこれから議論を進めていけばよいと思う。
- 「文化」は英語で「カルチャー」、「（農業；アグリカルチャー）栽培する」＝耕すことなので「人間の営みは文化」といってもいいのではないかな。

- 東区は農業も盛んで、「水の流れ」についても文化の面で面白いと思う。また、須恵器の供給源の地なので文化の面で注目でき、「行基集団」についても専門家が入ること
で知らなかったことが掘り起こせるのではないかと思う。
- 「子どもたちに」というのは基本であるので、印刷物を配るのは良いと思う。
- 「ひがしふれあい文化祭」では、例えば絵画や演奏など子どもから大人まで楽しめ
たので、もっとアピールして観覧してほしいと思っていて、動きのある展示、展示す
るだけでなく展示物、例えば版画の製作体験をしてもらうのも文化的価値があると思
う。
- 型にとらわれない形で出演講師を募集するとその講師の生徒さんが参加するし、体
験型のイベントになる。聞く・見るではなく体験する・触れるというのが重要。
- お茶の体験は楽しいと思う。
- 須恵器は器のはじめ、焼き物、陶芸で「お茶」とはつながる。
- 文化はそんなに早くできるものではない。過去の文化については専門書もあるし、
例えば学校でも資料は作っているので、我々はこれからの東区の魅力を作っていくと
いう意識でテーマを一つ決めてはどうか。また、文化祭の底辺を広げていってはどう
か。そのためにはどうすればよいのかに絞って進めていけばどうか。あえて小学生の
ためにとしなくてもよいのではないか。
- 東区内にあった文化村の活動について、地域住民はあまり知らないが文化的価値は
あると思う。
- 次回会議では、専門家の意見を聞いたりしながら区役所が望む内容も含めて案だし
してはどうか。
- 東区としてどんな文化を発信するのが良いのか、というのは難しいことだが、地域
的には昔は南河内郡なのでこれを掘り下げるのもよいのではないか。
- 「産業の文化」という視点でいうと、この地では昔は綿の生産、織物（緞通）が盛
んだったので農業の歴史とセットで調べる価値はある。
- 区役所からどんな方向性で進めたいかを提示してもらい、それを受けてどんなテー
マにするかは、専門家の話も聞きながら進めてはどうか。
- 区役所が選定すればよいが、ピンポイントの研究ではない、まちづくりの観点で文
化の講義をしてくれる幅広い知識を持つ専門家の話を聞くことで「このテーマはどう
ですか。」とアドバイスしてくれることも期待できる。
- SDGs と絡めて進めてもよいと思う。「文化」というと扱いが難しいが、日常生活
の視点でいくと食（食生活、給食）や健康、生活・設備などは小学生も興味を持って
もらえるのではないか。専門家でいうと、食品製造業などのメーカーの方でもよいの
ではないか。

- 次回会議で専門家を呼べるかどうかは検討する、また資料の用意ができれば提供する。
- 地域の文化発信、課題解決型をテーマに組み込んで進めていきたい。

4 閉会